

グリーフケアと死者との交わり

悲嘆表出の文化と宗教

2020年 2月 12日 wed

13:30-16:00 開場 13:00

聞法会館 3階 研修室 1・2

〒600-8357 京都府京都市下京区堀川通花屋町上ル
TEL075-342-1122

定員 100名
参加費無料
申込不要



講師 島蘭進氏

上智大学大学院実践宗教学研究科委員長・教授
同グリーフケア研究所所長
同モニュメンタニポニカ所長
東京大学名誉教授

お問い合わせ

浄土真宗本願寺派総合研究所（教学伝道研究室）

〒600-8349 京都市下京区堺町 92
TEL075-371-9244 FAX075-371-5761



浄土真宗本願寺派
総合研究所
Twitter



第15回 別離の悲しみを考える会

浄土真宗本願寺派総合研究所では、2007年より、自死(自殺)を中心とする死別まつわる悲嘆について焦点をあてた講演会「別離の悲しみを考える会」を開催してまいりました。

第15回目となる今回は、島藺進氏をお迎えし、「グリーフケアと死者との交わり ―悲嘆表出の文化と宗教―」と題してご講演をいただきます。

近年、いたるところで「グリーフケア」ということばを目にする機会が増えました。

大型災害がつづいたこともあってか、突然の喪失と、それに伴う悲嘆、そしてそうした行き場のないおもいとの向き合い方を模索する活動に、注目が集まっています。

震災後の移動傾聴喫茶、看取りの医療をはじめ、さまざまな活動を通じて現場の声に耳を傾けてこられた島藺氏とともに、グリーフケアをキーワードとして、悲嘆との向き合いかたを考えてみたいと思います。

タイムスケジュール

13:30-13:35・・・開会式・講師紹介

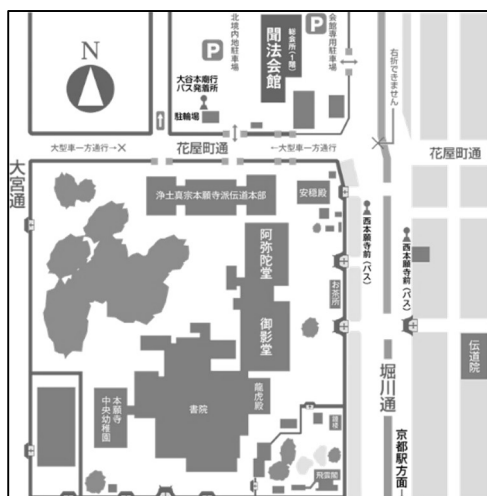
13:35-14:45・・・第一部 講演
グリーフケアと死者との交わり
―悲嘆表出の文化と宗教―

14:45-15:00・・・休憩

15:00-15:55・・・第二部 対談(質疑応答)

15:55-16:00・・・まとめ・閉会式

アクセスマップ



聞法会館
〒600-8357 京都府京都市下京区堀川通花屋町上ル
TEL075-342-1122



島藺 進
SHIMAZONO Susumu

1948年東京生まれ。1977年東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。筑波大学哲学思想学系研究員、東京外国語大学助手・助教授を経て、東京大学文学部(大学院人文社会系研究科)宗教学宗教学史学科教授。

現在、上智大学大学院実践宗教学研究科委員長・教授、同グリーフケア研究所所長、同モニュメンタニポニカ所長。東京大学名誉教授。現代における宗教の役割研究会副会長。

専攻は近代日本宗教史、比較宗教運動論。

著書に、『日本仏教の社会倫理』(岩波書店、2013年)、『倫理良書を読む』(弘文堂、2014年)、『いのちを”つくって”もいいですか? 生命科学のジレンマを考える哲学講義』(NHK出版2016)、『宗教を物語でほく』(NHK出版2016)、『宗教ってなんだろう』(平凡社、2017年)、『ともに悲嘆を生きる』(朝日新聞出版、2019年)など多数。